

# 平成19年度事業報告書

平成19年度も前年度に引き続き、当財団の目的であります宇宙科学に関する研究の支援、助成、広報を行ってきました。特に若手研究者の海外渡航への支援については応募者も年々増加し、当財団の活動が広く知られるようになってきました。宇宙科学の発展のため、一般社会に対する知識普及・広報活動も含め下記の事業を積極的に推進いたしました。

## 1. 海外の研究集会参加助成事業

若手・シニア研究者に対する海外で開催される国際研究集会参加費用補助につきましては、6月に11件、10月に5件、2月に6件 合計22件（応募者総数61件）、総額442万円の支援を研究助成審査会の審査を経て決定し、当該年度分として355万円の支援をしました。  
(3頁別表参照)

## 2. 国際研究集会開催支援事業

次の研究集会等の経費について支援をしました。

- ① 国際会議「第17回アストロダイナミクスシンポジウム」経費一部負担。
- ② 国際会議「宇宙線研究の新たな展開」経費一部負担。
- ③ 国際会議「科学推進の特別な話題にかかわる国際シンポジウム」経費一部負担。
- ④ 国際会議「VSOP-2での天体物理学と技術：マイクロ秒角の解像度にせまる」経費一部負担。
- ⑤ 国際会議「衛星による地震前駆現象観測に関するワークショップ」経費一部負担。
- ⑥ 国際会議「国際宇宙ステーション搭載のMAXIによる全天X線観測と宇宙物理学」経費一部負担。

## 3. 宇宙科学に関する知識の普及・啓蒙事業

宇宙科学研究本部が主催した以下の事業・行事について後援し、支援をしました。

平成19年	4月14日	宇宙科学講演と映画の会	(東京都新宿区)
〃	8月11日	宇宙学校	(長野県上田市)
〃	12月9日	宇宙学校	(宮城県塩竈市)
平成20年	3月1日	宇宙学校	(東京大学駒場キャンパス)

## 4. その他の支援事業

- ① 「第17回モデルロケット全国大会」の支援をしました。
- ② 宇宙科学研究本部体験学習「第6回・君が作る宇宙ミッション」の支援をしました。

- ③ 「第 15 回衛星設計コンテスト」の支援を行い、優秀作品の提案者に対して宇宙科学振興会理事長賞を贈り表彰しました。
- ④ 日米科学技術応用プログラム (JUSTSAP) 総会の支援をしました。
- ⑤ Yuri's Night 2008 の支援をしました。

## 5. 基本財産の現況と運用

本年度末における基本財産現在高は 432,780 千円でありまして、基金運用に伴う果実は 11,290 千円 (約 2.6%) となりました。

## 6. 賛助会員の加入状況

現在の会員数は、15 法人 (35 口) であります。 ※ 1 口 10 万円

### [特別会計]

#### 1. 宇宙科学啓発ビデオの複製・頒布

宇宙科学研究所において企画・製作した宇宙科学啓発ビデオ<宇宙へ飛び出せ>シリーズを複製し、既刊ビデオ・DVDを頒布しました。

頒布本数	第 1 巻～第 11 巻	154 本
複製本数	第 12 巻「小惑星探査機はやぶさの挑戦」	500 本

#### 2. 宇宙科学関連グッズ (「はやぶさ」プラモデル等) の頒布

小惑星探査機「はやぶさ」のプラモデル・写真立て、三浦折り路線図、小惑星「イトカワ」の模型等を頒布しました。

以上